

【NEWS RELEASE】

2018年6月4日

各 位

株式会社三井住友銀行

ミャンマーにおける教員研修プログラム支援に対する紺綬褒章を受章

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、公益財団法人日本ユニセフ協会（以下、日本ユニセフ協会）と協働でミャンマーにて支援している教員研修プログラムに対し、紺綬褒状（ ）を受章し、2018年5月31日、日本ユニセフ協会を通じて褒状が内閣府より授与されました。

（ ）紺綬褒状は、公益のために私財を寄付し、功績が顕著な個人または法人・団体に対し、国より授与されるものです。

三井住友銀行は、2015年11月に日本ユニセフ協会との間で、国際連合児童基金（以下、ユニセフ）ミャンマー事務所が進める教員研修プログラムへの支援に関する覚書を締結し、ミャンマーの発展を支える人材の育成に資する活動を支援してまいりました。

多民族国家のミャンマーでは、教育を国の発展のための優先課題とする一方で、暗記中心から思考力を育む学習への転換や、ミャンマー語を母語としない地域での授業法、教員が複数学年を同時に教える複式学級など、教育方法の様々な課題と向き合っています。

本プログラムは、ユニセフが全ての子どもの良質な教育を目指す中で、ミャンマー政府との合意に基づき、ミャンマー教育省と協働で開発・実施している教員研修プログラムに対し、三井住友銀行が日本ユニセフ協会を通じて支援しているものです。

当行は、更なる発展が見込まれるミャンマーにおいて、ヤンゴン支店や、業務提携先である民間最大手銀行「カンボウザ銀行」との連携等を通じて、同国における顧客基盤の充実に努めてまいりますと共に、同国の発展を支える人材の育成にも貢献してまいります。



伝達式の様子
（写真右より日本ユニセフ協会早水専務理事と
三井住友銀行中島常務執行役員）

以 上